



## 進路指導部 紹介

令和5年度の進路指導部専任の先生方は、以下の通りです。

進路に関して、皆さん一人一人の進路目標がより高いレベルで達成できるような最善を尽くしたいと思います。よろしくお祈りします。

進路室は、赤本を始め、進路に関する資料を数多く揃えています。3年生が利用の中心となりますが、1、2年生についても、是非、利用してください。この他に、各学年に進路担当の先生がいらっしゃいます。

※この欄に関する内容は

生徒に配布済みプリントを参照してください。



## 令和4年度 大学入試結果から

令和4年度の4年制国公立大学・私立大学の入試結果の一部は、以下の通りです。

卒業生は、1学年7クラスの最後の学年となりました。

国公立大学	受験数	合	否	合格率
公募制	52	20	32	38%
AO等	2	1	1	50%
一般 前期	99	36	63	36%
一般 中・後期	25	0	25	0%
小計	178	57	121	32%

私立大学	受験数	合	否	合格率
一般	389	260	130	67%

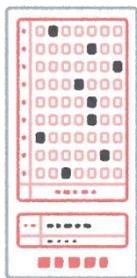


特に、4年制国公立大の公募制では、合格率が58%(R3)→39%と減少し、苦戦が見られましたが、国公立大の一般は、受験者数が79人(R3)→124人と大きく増加し、結果としても表れました。中でも、北海道大学1名、新潟大学3名、埼玉大学2名、地元の福島大学21名、福島県立医科大学7名、会津大学2名などが目立ちました。

4年制私立大学では、難関の上智大を始め、一般では、合格率が63%(R3)→67%、延べ合格者数でも、307人(R3)→326人と微増という結果でした。詳細は、第2職員室前の掲示板をご覧ください。

また、進路決定状況は、右の通りです。令和5年度は、全学年とも6クラスとなります。これまでを超える結果を目指していきましょう。

年度	国公立大学	私立大学	短大	看護医療	専門学校	浪人	総計
令和4年度	55	158	14	19	13	5	264



## 共通テストについて知ろう

2021年入試から「大学入学共通テスト」が導入されました。

これは、それ以前より読解力・思考力が問われるテストで、複数の事象を結びつける力、別な解法を考える姿勢なども問われます。是非、学習の視野を広くする習慣を付けてください。しかし、学習の根本は変わらないと考えておくとも良いと思います。

共通テストは、今年度は、1月13日（土）・14日（日）の2日間にわたって行われます。

多くの国公立大学の場合、「5教科7科目」以上を受験しなければなりません。その内訳は、以下の通りです。

文系学部……国語、英語（筆記＋リスニング）、数学①（Ⅰ・A）、数学②（Ⅱ・B）、

基礎理科2科目（本校は、物理基礎、生物基礎・化学基礎から2科目）、

社会2科目（地歴（世界史B・日本史B・地理B）から1科目＋公民（現社、政治経済、倫理、倫理政経）から1科目が一般的）。

理系学部……国語・英語・数学は文系学部と共通。

理科が2科目（本校では化学＋物理または生物の2科目）、

社会が地歴・公民から1科目の選択が一般的。

尚、新2年から、新課程のテスト

となり、文理共に「情報」が追加され、科目名の変更があります。評価方法も変更があり、今後の入試情報に注意が必要です。

また、私立大学の多くが共通テストの成績を合否判定に利用します。

このことから、共通テストは国公立大志望者だけでなく、大学受験を目指すすべての人にとって大事な試験です。

教科	グループ	出題科目	試験時間
国語		「国語」	90分
地理歴史		「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合、歴史総合、公共」	1科目選択60分 2科目選択130分 (うち解答時間120分)
公民		「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、 「地理総合、歴史総合、公共」(再掲)	
数学	①	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」	70分
数学	②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」	70分
理科		「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	1科目選択60分 2科目選択130分 (うち解答時間120分)
外国語		「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 ※「英語」については、ICプレーヤーを使用する試験も実施。	80分 【ICプレーヤーを使用する試験】 60分 (うち解答時間30分)
情報		「情報Ⅰ」	60分

(参照 (株)ラーンズ 2025年共通テスト 実施大綱の予告・補遺まとめ <https://www.learn-s.co.jp/edu/pg/1info211008>)

## 社会のニュースに目を向けよう

中国電力、中部電力、九州電力が関西電力と互いの営業エリアで電力の販売をしないようカルテルを結んでいた問題についてのニュースがありました。

そこで、よく公民で習う以下の3つの単語について、調べてみました。このニュースに限りませんが、皆さんの興味のあることから良いので、視野を広くし、自分なりに整理し、自分の考えを持っておいて欲しいと思います。そして、社会の情勢に関心を持っておいてください。



○カルテル（企業連合）……同一産業内の企業同士が価格や生産量について協定を結び、自由競争を避けること。独占禁止法によって禁止されている。

○トラスト（企業合同）……同一産業や同一業種の企業同士が合併などを行って、市場の価格や供給量などを左右することになってしまうこと。独占禁止法によって禁止されている。

○コンツェルン（企業連携）……巨大なひとつの資本が株式の保有などを通じて、いくつもの産業分野の企業を傘下に入れること。かつては禁止されていたが、解禁された。

(参照 ことくらべ: <https://kotokurabe.com/cartel-trust-konzern/>)